

オリジナル設計(株)  
昆野 耕久

## － ふるさと自慢 －

### 1. はじめに

私の生まれ故郷、岩手県遠野市は「民話の里」として知られ、美しい自然と豊かな文化が調和した町です。帰省するたびにその変わらない景色と静けさに癒されています。本稿では、遠野の魅力について、ほんの一部ですがご紹介いたします。

### 2. 自然と歴史文化

遠野市は山岳・湿原・高原など、昔ながらの豊かな自然に恵まれており、県中南部に位置します。北に日本百名山の一つ「早池峰山」、東に「六角牛山」、北西に「石上山」の山々に囲まれた盆地地域です。湿原・高原には、希少な動物が生息し四季折々の風景が楽しめる「琴畑湿原」、古くから馬産地として名高い「荒川高原」、石灰岩地帯特有のカルスト地形が発達している「大洞カルスト」は学術的価値が高く、岩手県自然環境保全地域に指定されています。

歴史文化では、民俗学者の柳田國男が刊行した書籍「遠野物語」の舞台であり、カップや天狗といった妖怪、ザシキワラシやオシラサマにまつわるスポットが点在しています。また、国指定重要文化財の南部曲り屋や、語り継がれてきた物語を身近に体験できる施設もあります。

### 3. 観光とグルメ

#### (1) 高清水展望台

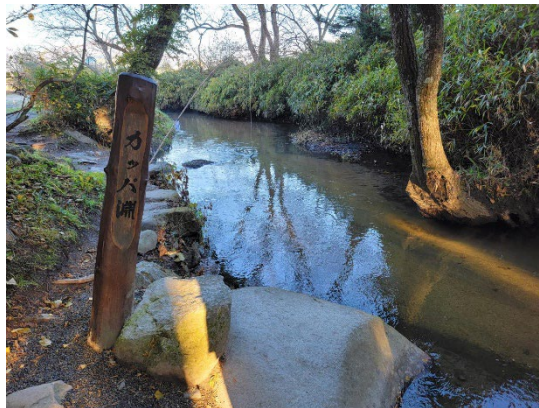
こちらは知る人ぞ知る雲海の観賞スポットです。標高約 797.7m に位置し、遠野盆地を一望できる絶好のロケーションです。雲海とともに朝焼けに染まる山々は壮観な景色、その息をのむ美しさに観光客や写真愛好家が訪れます。私も 11 月に足を運んだ際、早朝の雲海はまるで神話の世界に迷い込んだような気分になりました。市街地から車で約 30 分と気軽に訪れることができ、展望台までの道路、駐車場も整備されています。防寒着は必須です。



【日が射すと景色も一変、幻想的な世界が広がる】

## (2) カッパ淵

1490 年に開山した曹洞宗の由緒ある常堅寺の裏手に「カッパ淵」と呼ばれる小川があります。「遠野物語」にも登場するカッパ伝説の地として、多くの観光客が訪れます。カッパを捕獲するための釣り竿も設置されており、カッパ捕獲許可証を取得すれば、捕獲に挑戦することもできます。私もカッパ捕獲許可証を所有しておりますが未だ捕獲には至りません。そしてカッパと言えば緑色のイメージですが、遠野のカッパは土色です。また、常堅寺は遠野物語に登場する「オシラサマ」が祀られる場所でもあります。



【川へ引きずり込まうとするカッパがいるようです】

## (3) 芸能の祭典

遠野には、お祭りとお祭りと郷土芸能が数多くあります。代表的なお祭りには、毎年8月に開催される「遠野まつり」があり60以上の団体が集結し、地元の伝統芸能やパレードが楽しめます。この祭りでは、「しし踊り」「南部ばやし」「遠野南部流やぶさめ」などの郷土芸能が披露され、地域の文化を感じることができます。

遠野物語にも登場する「しし踊り」は、400年以上前に遠野に伝えられたと言われていいます。ちなみに、私は6年間「しし踊り」を踊っていました。鹿の頭を模した面をか

ぶり、太鼓や笛の音に合わせて踊るこの伝統芸能は、私にとって特別な思い出です。祭りや芸能は、遠野の歴史や風土を反映しており、大切な文化遺産として受け継がれ、訪れる人々に深い感動を与えてくれます。



【魂が震える祭り】

#### (4) ジンギスカン

遠野のソウルフードといえば「ジンギスカン」です。春から秋にかけて屋外でジンギスカンを楽しむ習慣があり、一家に一台ジンギスカン鍋があるほどです。遠野流の食べ方は、ブリキのバケツに吸気口の穴を開け、固形燃料を入れて鍋を熱し、気軽に屋外で焼くスタイルです。市内の有名店では、70年以上守り続けられている酸味の効いた辛口の秘伝のタレで味わうことができ、地元の新鮮な野菜と一緒に楽しめます。



【北海道にも負けない美味しさ！】

#### (5) 遠野ビール

ビールの原料であるホップの日本随一の生産地で、栽培面積日本一を誇る地域でもあります。近年、遠野産のホップを活用したクラフトビールの製造が進み、地域ブランドとして地元経済を活性化させる役割を果たしています。ホップの収穫を祝うイベントも開催され、地域の魅力発信に繋がっています。

#### 4. おわりに

遠野は、豊かな自然と歴史文化、そして地元根付く食や伝統が織りなす魅力にあふれたふるさとです。訪れるたびに、どこか懐かしくて温かい気持ちになり心が躍ります。遠野の風景や文化が今も変わらず息づいているのは、地域の方々が大切に守り続けているおかげだと感じます。

「ふるさと自慢」として私が綴った遠野の魅力が、読んでくださった皆さまの心に響き、この地を訪れるきっかけとなれば幸いです。遠野は、いつでも皆さまを温かく迎えてくれるはず。そして、私のふるさとを歩き、その空気を感じながら、皆さま自身の特別な思い出を作っていただけたらとささやかに願っています。

以上